

ワイヤーロープウィンチ式ゲート点検表

平成27年8月28日(提出)

排水樋管 の名称	排水樋管 へ内堀	点検実施日		責任者
		平成27年 8月28日		操作員 氏名印
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合は内容を記す。
ゲート及び 戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認 及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の 確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷が ないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態、 懸下ワイヤの弛み	目視確認 及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲で の清掃。ワイヤの弛み確認。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	電源の確認	操作盤への 通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがないか 確認。	◎
	電動及び動力の切替	切替作業 手順の確認	切替作業までを行うものとする。 動力の作動確認は不要。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堤の全閉により川の水位が 上昇し、逆流防止のため当該排水 樋管も全閉している場合は、ゲート の開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
		異状音の 有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート 付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローの回転不良等何ら かの摩擦があれば上記が発生する。)	○
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	全閉・全開時、開度指示計とゲートの位置が あっているか確認。	○
エンジン式 予備動力 又は発電機 (予備動力が 手動の場合 は不要)	始動状況	作動確認	スムーズに始動できるか確認。	/
	オイル漏れや燃料の確認	目視確認	漏れ、滲みの有無の確認。 燃料の補給が必要かどうか確認。	/
	振動及び異状音の確認	聴視確認	基だしい振動及び異常音の有無の確認。	/
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書や著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の 確認。	○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び進入路等、操作及び監視に必要な 箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び 目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく 水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート建造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書や亀裂・陥没・剝 離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書や亀裂・ 陥没・剝離等の確認。転落防止柵の損傷の 確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等が あるか確認。	○
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確 認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えることを 確認。	◎
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。	◎
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。

電動ゲート点検表

平成27年8月27日(提出)

排水樋管 の名称	新井木 排水樋管	点検実施日		責任者		
		平成27年8月27日	操作員 氏名印			
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合#は内容を記す。		
ゲート及び 戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認 及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆 の確認及び各部の清掃。		○	
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷 がないか確認。		○	
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。		○	
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認 及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲 での清掃。		○	
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。		○	
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び 振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。		○	
	電源の確認	操作盤への 通電確認	引き込みブレーカーの操作。		○	
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがない か確認。		○	
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が 上昇し、逆流防止のため当該排水 樋管も全閉している場合は、ゲート の開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)			○
		異状音の 有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート 付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間コローの回転不良等何 らかの摩擦があれば上記が発生する。)			○
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。			○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下する ことを確認。 手動ハンドルがスムーズに動くか確認。			○
	開度指示の確認	目視確認	開度指示計とゲートの位置があっているか 確認。			○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書や著しい損傷及び発錆の確認。		○	
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の 確認。		○	
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。		○	
	進入扉・錠錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。		○	
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及 び監視に必要な箇所の除草。		○	
	量水標の状態	清掃及び 目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく 水位を洗むことができるか確認。		○	
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書や亀裂・陥没・ 剝離等の確認。		○	
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書や亀裂・陥 没・剝離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及 び絡んでいる草がある場合は除草。		○	
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等が あるか確認。		○	
	困体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。		○	
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えること を確認。雑草等で見えない場合は、危険の ない範囲で除草。		○	
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。		○	
	記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)				
処置 (出張所記入)						

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表一

電動ゲート点検表

平成27年8月20日(提出)

排水樋管 の名称	豊田 排水樋管	点検実施日		責任者
		平成27年 8 月 20日		操作員 氏名印
名称	点検項目	点検方法	点検内容	清掃した場合は○を記す。 不良の場合は内容を記す。
ゲート及び とあた 戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認 及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆 の確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷 がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認 及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲 での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び 振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への 通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがない か確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が 上昇し、逆流防止のため当該排水 樋管も全閉している場合は、ゲート の開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
		異状音の 有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート 付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何 らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下する ことを確認。 手動ハンドルがスムーズに動くか確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	開度指示計とゲートの位置があっているか 確認。	開度計故障中
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の 確認。	○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引き込み柱への進入路等、操作及 び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び 目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく 水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・夏壁等の、落書きや亀裂・陥没・ 剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥 没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及 び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等が あるか確認。	○
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えること を確認。乾草等で見えない場合は、危険の ない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。	○
	記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)		
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。

別表-1

電動ゲート点検表

平成27年9月9日(提出)

排水樋管 の名称	古瀬 排水樋管	点検実施日		責任者
		平成27年 9月 7日		操作員 氏名印
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合は△内容を記す。
ゲート及び 戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認 及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆 の確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷 がないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認 及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲 での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び 振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への 通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがない か確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が 上昇し、逆流防止のため当該排水 樋管も全閉している場合は、ゲート の開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
		異状音の 有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート 付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローラの回転不良等何 らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
	手動操作	作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
		作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下する ことを確認。 手動ハンドルがスムーズに動くか確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	開度指示計とゲートの位置があっているか 確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書きや著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の 確認。	○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及 び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び 目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく 水位を眺むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・洶壁・翼壁等の、落書きや亀裂・陥没・ 剝離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書きや亀裂・陥 没・剝離等の確認。転落防止柵の損傷の確認及 び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等が あるか確認。	○
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えること を確認。雑草等で見えない場合は、危険の ない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す)			
処置 (出張所記入)				

注 該当しない項目は/で抹消すること。

電動ゲート点検表

平成27年9月7日(提出)

排水樋管 の名称	点検実施日	責任者		
		操作員 氏名印		
上野排水樋管	平成27年9月7日			
名称	点検項目	点検方法	点検内容	判定 良であれば○を記す。 清掃した場合は◎を記す。 不良の場合は内容を記す。
ゲート及び 戸当り	各部の損傷・発錆及び汚れの状況	目視確認 及び清掃	ゲート及び戸当り(戸溝)の損傷及び発錆の 確認及び各部の清掃。	○
	水密ゴムの確認	目視確認	水密ゴムを目視できる範囲で亀裂等損傷が ないか確認。	○
	漏水の確認(本川の水量がある場合)	目視確認	全閉時川裏側への水の流れがあるか確認。	○
開閉装置	捲上機及び操作盤等の外部の状態	目視確認 及び清掃	発錆の確認及び汚れがあれば可能な範囲 での清掃。	○
	潤滑油(オイルやグリス)の状態	目視確認	漏れ・滲みの確認。 オイルゲージ(油面計)等で油量確認。	○
	吊り棒(ラック棒・スピンドル棒)及び 振止(軸受)の状態	目視確認	折れ曲がりや損傷の確認。	○
	電源の確認	操作盤への 通電確認	引き込みブレーカーの操作。	○
	操作盤	ランプテスト	ランプテストボタンにて、ランプ切れがない か確認。	○
	ゲートの開閉状況 (取水堰の全閉により川の水位が 上昇し、逆流防止のため当該排水 樋管も全閉している場合は、ゲート の開閉状況の点検は省略する。)	作動確認	押しボタン操作で開閉できるか確認。 (操作は原則として全閉全開とする。)	○
		異状音の 有無	ゲートの傾きの有無の確認。戸当りとゲート 付近からの異状音の有無の確認。 (戸当りとゲートの間にローの回転不良等何 らかの摩擦があれば上記が発生する。)	○
		作動確認	停止ボタンによる途中停止が可能か確認。 全閉・全開時に自動停止できるか確認。	○
	手動操作	作動確認	自重降下レバーを操作し、正常に降下する ことを確認。 手動ハンドルがスムーズに動くか確認。	○
	開度指示の確認	目視確認	開度指示計とゲートの位置があっているか 確認。	○
その他	管理橋・操作台・手摺の状況	目視確認	落書や著しい損傷及び発錆の確認。	○
	操作建屋の状況	目視確認	操作建屋のある樋管の場合のみ適用。 雨漏りや窓ガラスの割れ等不具合箇所の 確認。	○
	照明設備の状況	点灯確認	点灯の確認。	○
	進入扉・施錠(南京錠)の状況	状況確認	開閉状況及び損傷の確認。	○
	階段(呑口・吐口)及び進入路等	目視確認 清掃除草	階段の損傷の有無の確認及び清掃除草。 ゲート及び引込み柱への進入路等、操作及 び監視に必要な箇所の除草。	○
	量水標の状態	清掃及び 目視確認	可能な範囲での清掃。発錆・汚損がなく 水位を読むことができるか確認。	○
	コンクリート構造物の状況	目視確認	門柱・胸壁・翼壁等の、落書や亀裂・陥没・ 剥離等の確認。	○
	取付護岸等の損傷 (呑口・吐口共及び転落防止柵を含む)	目視確認 清掃除草	取付護岸や排水路護岸等の、落書や亀裂・ 陥没・剥離等の確認。転落防止柵の損傷の 確認及び絡んでいる草がある場合は除草。	○
	水路内の堆積土等	目視確認	著しい堆積土や、流れを阻害するゴミ等が あるか確認。	○
	函体(コンクリートボックス・ヒューム管)	目視確認	危険のない範囲で内部のゴミの有無の確認。	○
	呑口・吐口の清掃及び除草	目視確認 清掃除草	呑口・吐口の全体及び量水標が見えること を確認。雑草等で見えない場合は、危険の ない範囲で除草。	○
	樋管周辺の美化環境の維持	目視確認 及び清掃	ゴミの有無を確認。軽易なゴミは除去。	○
記事	(上記以外で特に操作の支障となる事項があれば記す) 戸当りの点検を清掃			
処置 (出張所記入)	—			

注 該当しない項目は/で抹消すること。